

第2学年 社会科学習指導案 単元名 「日本の諸地域 中国・四国地方」	日 時 令和7年 9月4日(木) 第6校時 学 年 第2学年 8名(男子5名 女子3名) 指導者 松 勇太
---	---

1 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領社会編 地理的分野の「C 日本の様々な地域」の中項目「(3) 日本の諸地域」に基づき設定したものである。この中項目では、空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して、地域の特色ある地理的な事象を他の事象と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成することを主なねらいとしている。本単元では、「交通や通信を中核とした考察の仕方」を基にして、中国・四国地方の地域的特色や地域の課題を他地域の事象と関連付けて多面的・多角的に追求する。

中国・四国地方は、山陰・瀬戸内・南四国で気候や人々の生活・産業にそれぞれ違った特色が見られる。高速道路や新幹線、本州四国連絡橋などの交通網が整備された瀬戸内地域には、人口が集中している一方で、山陰や南四国では、過疎化の進行が大きな問題となっている。本単元の学習では、中国・四国地方に過疎地域が多く存在することに気づかせ、交通の視点からその理由を考察させたい。また、その解決策として「新たな交通網の整備」が効果的に働くかどうかを検討することを通して、社会資本の整備に伴う地域間の結びつきの強化がプラスに作用する方法について検討したい。

(2) 生徒観

中国地方の中山間地域に住む本校生徒達自身も「過疎」という問題に直面している当事者である。本単元の学習を自分事としてとらえ、より具体的に解決策について考えていくために、生徒の意識に関わるアンケート調査を行った。結果は以下の通りである。

質問内容	とても	まあまあ	あまり	いいえ
あなたは、三次市にどの程度、愛着を感じていますか。	0%	100%	0%	0%
あなたは、将来も三次市に住みたい(住み続けたい)ですか。	0%	14. 3%	85. 7%	0%

三次市が「住みたい」と思えるまちになるために必要なことについてあなたの考えを教えてください。

☐ 買い物施設を増やす	☐ 店を増やす
☐ 飲食店やショッピングモールなどの店や娯楽施設を設ける。	☐ お店を増やす
☐ 若い人が好きそうなお店を増やせばいいと思う	☐ 商業施設を増やす
☐ 施設がもっとほしい	

全ての生徒が三次市に「愛着がある」と答える一方で、将来も「住みたい」生徒は少なくなっている。また、「住みたい」と思えるようになるには、商業施設等が不足していると感じている生徒がほとんどであった。商業施設の立地には「人口」や「交通」が大きく関わっている。本単元と自分たちの生活を結び付けて考えることを通して、より良い社会の実現を考える態度を養いたい。

(3) 指導観

本単元においては、高速交通網の発達によって社会がどのように変化してきたのかということについて、具体的な事象を取り上げ、その内容や背景を考察していくことを通して、中国・四国地方の地域的特色を明らかにしていきたい。多面的な視点としては、本州四国連絡橋が中国・四国地方にもたらした変化と、他地域の交通網整備による変化を比較し、交通インフラの発達が地域社会に与える影響について考察させる。その際、交通網の整備によって定住人口が都市部に移っている例や、地域の魅力を活かした町おこしにより交流人口が増加している例などを取り上げる。また、多角的な視点としては、交通の発達に加えて、交通の衰退が地域社会に与える影響にも着目させ、交通を一方向からでなく、様々な観点から総合的に捉えられるようにしたい。単元の終末には、三次市が交通網や通信網を活かして、地域社会をより持続可能なものにしていくために必要なことについて考え、地域の活性化のためには、交通インフラなどのハード面だけでなく、その地域に住む人々

の工夫などのソフト面も重要になることに気づかせる。

2 単元の目標

(1) 知識及び技能

中国・四国地方について、交通網や通信網の発達による産業や人々の生活の様子の変化やそこで生ずる課題について理解する。

(2) 思考力・判断力・表現力等

中国・四国地方について、交通網や通信網の発達による変化を他地域の事例と比較することを通して、多面的・多角的に考察し、表現する。

(3) 学びに向かう力、人間性等

○中国・四国地方について、より良い社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追及しようとしている。

<単元の評価規準>

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
○中国・四国地方の交通・通信網による結びつきの変化とそれに関連する産業や生活の変化について理解している。 ○交通網や通信網の発達がもたらす地域への影響と、そこで生じる課題について理解している。	○中国・四国地方における交通・通信網の発達に伴う地域への影響を、人々の対応や他地域との結びつきに着目し、他地域の事例と比較検討しながら、そこで生じる課題とその解決策について多面的・多角的に考察し、表現している。	○中国・四国地方について、寄り良い社会の実現を視野に、交通・通信網の整備に伴う産業の発展や地域の活性化に向けた努力などについて、主体的に追及しようとしている。

3 単元計画 全7時間（本時5時間目）

(1) 指導と評価の計画

時	学 習 内 容	評 価				
		知	思	主	評価規準	評価方法
1	課題の設定 ○中国・四国地方の交通網			◎	・中国・四国地方に新しく交通網を整備することについて、根拠を持って自分の考えを説明している。	観察 ワークシート
2	情報収集 ○中国・四国地方の自然環境	◎			・中国・四国地方の気候に影響を与える山地について理解し、山陰・瀬戸内・南四国の気候的特色を説明している。	観察 ワークシート
3	情報収集 ○瀬戸内・山陰・南四国の産業・暮らしの特色		◎		・山陰・瀬戸内・南四国の産業の特色を地理的な位置や自然環境などに関連付けて考察している。	観察 ワークシート
4	整理・分析 ○交通網の整備と人々の生活の変化		◎		・交通網の整備による、中国・四国地方と他地域との結びつきの変化について考察し、表現している。	観察 ワークシート
5 本 時	整理・分析 ○地方と交通網の発達		◎	○	・交通網の整備による地域への影響を評価し、中国・四国地方の交通網の発達の是非について判断している。	観察 ワークシート
6 7	まとめ・表現 ○人々を呼び寄せる地域の取り組み		◎	○	・より良い社会の実現のために、交通通信網の整備に伴う産業の発展や地域の活性化に向けたアイデアを考え、	観察 ワークシート プレゼンテーション

				表現している。	
--	--	--	--	---------	--

(2) 単元の終末で見取るパフォーマンス評価

パフォーマンス課題		評価基準
交通網を充実させるべき区間を設定し、交通網や通信網の発達を活かした地域活性化の案を考えよう。	A	交通・通信網の整備によって結びつきが強まる他地域との関わりかつ地域の特色を生かした地域活性化の案を考えている。
	B	交通・通信網の整備によって結びつきが強まる他地域との関わりを生かした案または、地域の特色を生かした地域活性化の案を考えている。
	C	学習を踏まえた企画案になっていない。 (地域の特色を具体的に生かす案になっていない場合も含む)

5 本時の展開

(1) 本時の目標

○様々な地域における交通網の発達が地域社会に与える影響を評価し、交通網の発達が効果的に作用する条件について考察し、表現できる。

(2) 本時の評価規準

○交通・通信網の発達による影響を、自然環境・産業・人々の暮らしなど様々な視点から考察し、交通網の発達が効果的に作用する条件について説明できる。

(3) 本時のめざす生徒の姿 (評価基準)

評価基準		生徒の姿	基準達成のための手立て
A	交通網の発達がもたらす影響のプラス・マイナス面どちらも理解した上で、交通網の整備が、より効果的に作用する条件について説明できる。	交通・通信網の整備がもたらす負の側面があることを理解した上で、負の側面を軽減させる取り組みを考察している。	交通網発達のメリット・デメリットを整理させる。
B	(Bを評価規準とする) 交通網の発達が効果的に作用する条件について説明できる。	交通・通信網の整備がもたらす影響を評価し、自分の考えを説明できる。	前時までに学習を振り返らせる。
C	「B」を満たしていない。	「B」を満たしていない。	

(4) 準備物

・教科書、ワークシート、資料プリント、パソコン、電子黒板、iPad

(5) 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て)	評価規準[観点] (評価方法)
1 学習内容を確認 2 本時のめあてを確認	◇これまでの内容をふり返し、本時の内容を説明する。	
【めあて】 山陰新幹線の開業は中国・四国地方にとってメリットがあるだろうか。		
3 めあてについて、前時までの学習をもとにそれぞれ考える。(個人思考) (予想される生徒の反応) ・便利になるから作った方がいい。 ・三次は通らないからなくてもいい。	◆前時までの学習について整理したものを提示する。	○交通と地域の関係について主体的に追及しようとしている。[主体的に学習に取り組む態度] (ワークシート)
4 過去の新幹線整備がもたらした地域への影響について資料から読み取る。(個人思考及び集団思考)	◇資料をもとに集めた情報をワークシートに記入する。 【社会科の「見方・考え方」】 他の交通網の事例と比較して判断する。	
5 在来線と山陰新幹線・四国新幹線の計画路線を比較し、交通網整備のメリット・デメリットを予想する。(集団思考)	◇他の交通網の発達がもたらした影響と同じことが起こるかどうか、ワークシートに記入した情報をもとに予想する。 【社会科の「見方・考え方」】 交通網の発達がもたらす課題を把握して、その解決に向けた方法を考える。	
6 本時のまとめ・ふり返し 自分の意見を記入し、振り返りを行う。 (生徒の振り返りの例) ・A 評価の記述例 中国・四国新幹線の開業によって、都市圏との間の移動時間短縮が可能になり、地域経済の活性化が期待できる。一方で、停車駅のない都市の経済が衰退する可能性もあるため、それぞれの地域が人々を呼び寄せる魅力的な取り組みを考えていくことが重要である。 ・B 評価の記述例 中国・四国新幹線の開業によって、都市圏との間の移動時間短縮が可能になり、地域経済の活性化が期待できる。	◇生徒のふり返しを発表させる。	◎交通網の発達が効果的に作用する条件について説明できる[思考・判断・表現] (授業観察、ワークシート)

(6) 板書計画

めあて 山陰新幹線・四国新幹線の開業は中国・四国地方にとって必要だろうか。					
本州四国連絡橋		他の新幹線		在来線経路図	
良さ	課題	良さ	課題	新幹線計画案	
				生徒の振り返り	